

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

静岡市 地域セミナー 報告書

2018（平成 30）年 12 月 12 日（水）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」静岡市地域セミナーが開催されました。当日は、静岡市のオリンピック・パラリンピック教育推進校の先生方を中心に計 9 名にご来場いただき、下記の要領で盛会の裡に終了いたしました。

【開催概要】

日時：2018（平成 30）年 12 月 12 日（水）15 時 00 分～16 時 30 分

会場：静岡市教育センター

主催：静岡市教育委員会、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：9 名

プログラム：

15:00～15:05 開会の挨拶及び講師紹介

静岡市教育センター 指導主事 黒柳 哲也 氏

15:05～15:35 「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」事業説明

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター 副センター長 深見 英一郎 氏

研究員 岡田 悠佑 氏

15:35～16:20 ボッチャ体験

静岡市スポーツ交流課 担当者

16:20～16:30 事務連絡

開会行事では、静岡市教育センターの黒柳哲也氏（指導主事）より挨拶と講師紹介がありました。

次に、本センターの深見英一郎副センター長と岡田悠佑研究員による事業概要の説明とオリンピック・パラリンピック教育の推進方法に関する講義が行われました。当初 10 地域から始められた本事業は、今年度で 3 年目を迎え、推進地域は 35 地域まで増え、少しずつオリンピック・パラリンピック教育が全国に広まってきている一方で、学校現場では、まだまだオリンピック・パラリンピック教育の実践を行ううえでの課題は山積しているという現状を報告されました。そして今後は、推進校の先生方と少しずつそれらの課題を解消しながら、オリンピック・パラリンピック教育を充実させていく必要がある、という説明がありました。さらに、本センターの岡田悠佑研究員からは、各種学校における具体的なオリンピック・パラリンピック教育の実践方法についての講義がありました。オリンピック・パラリンピアンへの講演や実技指導の前後の取り組みとして、オリンピック・パラリンピックを関連付けた授業や掲示物の作成などの取り組みについて、事例を交えながら紹介がされました。また、「オリンピック・パラリンピック教育指導参考資料」（スポーツ庁）や「I'mPOSSIBLE」（日本パラリンピック委員会、日本財団パラリンピックサポートセンター）などの教材、さらには「夢に向かって 車いすアスリートの挑戦」（早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター）や「WHO AM I」（WOWOW）などの授業で活用できる映像資料の紹介も行われました。



黒柳 哲也 氏



深見 英一郎 副センター長



岡田 悠佑 研究員

休憩後、参加された先生方を対象に、ボッチャの体験会が行われました。まず、映像資料を元にボッチャのルールやゲームの進め方について講義を行いました。続いて、スポーツ交流課の方の進行で、実際にボッチャ体験を行いました。参加されたほとんどの先生がボッチャを行うのが初めてであったことから、ジャックボール（白いボール）を投げてゲームを始めることや、1投目のボールがジャックボールから遠いチームからゲームを始めることなどの説明がありました。先生方には、2チームに分かれてもらい、公式試合と同様の6エンドを行って勝敗を競っていただきました。短時間でしたが投げ方を工夫してジャックボールの近くにボールを止められるようになる先生もあり、実際に学校で子どもたちとやってみたい、という意見もいただきました。



ボッチャの紹介



ボッチャ体験